

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
LEIF手稲		2025年3月31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	・サッカー活動の時は体育館を借りて活動している。	・定員超過が常態化していたため、固定利用の見直しが必要であると考え ・明らかに狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	4		・慢性的な人員不足が続いているため、補充を求める ・よくわからないが、役職についていることが関係するのであれば足りていない ・支援者の配置人数が足りていない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		・完全なバリアフリー化が出来ていない ・鏡張りであったり、刺激が多く声掛けが入りづらい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	3		・日頃の清掃は行っているが定期的に清掃するべき箇所もある ・掃除機、タイルをきれいにしたい ・収納スペースや活動スペースが狭いため、シューズの匂いなどを横で感じながら調理などを行うのはどうかと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2		・徹底した取り組みとまでは至っていないが、浸透しつつある ・支援者の所定休みなどもあったり、別な業務もあったり必要以上の会議も多く改善が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・朝礼、昼礼はしっかり行うようになっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3		・人員不足ため研修会等への参加が困難な状況 ・内部でのMTが多く、閉鎖的であるため外部の意見を取り入れた方がいい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・児発官だけでなく支援員全員で会議して意見を入れている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・徹底した取り組みとまでは至っていないが、浸透しつつある	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		・子どものその時の精神的な状況に合わせて支援をしている時もあるので、完全にはいとは言えない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	・退勤時間が異なるため、その日にできる時と翌日に行う時とで臨機応変に対応している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・どうしたいか意見が出ずらいお子様には3択から自分の意見に近いものを選んでもらうなど、自分で選ぶ権利、選んだものを実行する権利を伝えている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	・完全ではないが、連携を取れるように体制を整えている段階。お子様の主治医とも連絡を取れるようになってきている。	・提携病院はあるがその他の連携は少し薄いと感ずる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		・当事業所を6年生で卒業するため、福祉サービス(就労など)への移行支援などが無い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	・年2回の訪問の他、必要に応じて連絡をとって助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	・お子様の状況に応じて、ペアレントトレーニング体験会などに参加しないか声をかけていたこともある。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・お子様にも達成具合や、自身でどこまで課題感を感じているか全員と面談している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		・法令に基づいた支援をしていけるよう改善していく ・親子サッカーを行った事はあるが機会は少ない ・今年はできるように体制を整えたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・迅速ではないが、事実の確認とその事象を目撃した他の支援者からの意見なども聞き取り、擦り合わせた上でご回答している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		・HP、SNS等で発信しているが、全家庭が把握できていないため、発信を強化していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・連絡帳の内容を読んでもしまうお子様もいるので、ご本人の居ない時間帯などで情報共有をするなどの方法もとっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・インクルージョンがなされていないため、新年度はより地域に開かれた運営を目指す
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3		・法令に基づき、実施していく ・足りない部分もある ・全くできていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	4		・BCPは作成しているが訓練は実施できていないため、今後は徹底して行っていく。 ・全くできていない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		・契約時や面談時に周知しているが、それ以降の周知がなされていないため今後徹底していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			